指標

筆記体の練習をした

理工学部教授
早坂（はやさか） 七緒（ななお）

一〇年ほどまえ、北欧を列車で旅行していたときに、小学生の遠足に乗り合わせた。隣の子供はサイコロを振って、先生と双六に似たゲームをしていた。ふと気がつくと、その子供がなにか計算をやっている。先生に質問すると、「倍のコマを進めたらどうなるか、と聞いてきたので、どういうルールにすればよいか考えなさい、と言ったのよ」とのこと。双六とは違うゲームなので、私は内心、それではゲームが成立しないだろうと思ったのだが、とにかく子供のアイディアを帰結までやらせてみる、という指導の仕方に感心した記憶がある。こういうのが「ゆとり教育」なのではないだろうか。翻って、例えばよく目にするわが国の国語の問題では「主人公の気持ちはどれか、つぎの四つから選びなさい」というパターンが珍しくない。むしろ独創性を育てないように努力している感すらある。

国際的に学力がトップにあるフィンランドでは授業時間が日本よりも少ないと聞く。また、日本のいわゆる「ゆとり世代」の学力がとくに低いわけでもないのだそうだ。問題は、「習っていない」事項が多数あること、しかも出身校やコースによってまちまちなことである。

私はドイツ語を担当しているので、筆記体をどうするか、という難問に直面した。ゆとり教育の小中学校で教えなくともよい、となったために、まったく無縁の学生もいれば、身につけている学生もいる。授業のさいに簡単なアンケートを取ったところ「筆記体を教えて欲しい」という要望が「使わないで」という要望と拮抗した。しかし板書のさいに使わないわけにゆかないので黒板に四本の線を引き（三本目はソーメンのように赤くして）五分ほど使って練習した。独作文を筆記体で書く宿題も出した。これで、とにかく授業についてきて欲しいと願うばかりである。

宮城県白石市出身。東京大学人文科学研究科博士課程中退。趣味は、連句とオペラ鑑賞。

目次

〈指標〉
筆記体の練習をした……早坂　七緒…1
まなびやの学生たち
インゼミで輝く……横山　彰…2
進路・就職懇談会開催のご案内……4
キャリア教育の現場から⑬
……武智　秀之…6
新入生のキャンパスライフ
大塚彩恵子・大友理博・菊地宏子
金城知康・松本侑子・佐藤友哲
……8
コルカタ満月記④……上原　若菜…14
マラウイの国にて⑦……内山　麻希…18
トコトンこんとん～駆け出し研究員のインド日記～⑨……大司　雄介…21
法学部「やる気応援奨学金」リポート㉞
……川畑めぐみ…25
シリーズ「多摩探検隊」制作日誌㉘
……堀夏海・平澤恵梨…30
多摩キャンパス自然のエッセイ㉞
……武田　直邦…34
教養講座（第一九一回）
山ほとぎすいつか来鳴かむ―古典文学のなかのホトトギス―
……吉野　朋美…35
支部だより……39
〈表紙②③〉②父母懇談会点描③多摩キャンパス自然のエッセイ
題字―宮嶋泰男　表紙写真―渡部芳紀